



- Topics1…山形大学医学部東日本重粒子センターのウェブサイトを開設!
- Topics2…大規模トリアージ訓練を実施しました
- 診療科の取組案内1…泌尿器科
- 診療科の取組案内2…放射線治療科

山形大学医学部附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.8が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

Topics1

山形大学医学部東日本重粒子センターのウェブサイトを開設!

山形大学医学部東日本重粒子センターのウェブサイトはこちらから <http://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/>

このたび、平成32年春の治療開始を目指している山形大学医学部東日本重粒子センターのウェブサイトを開設いたしましたので、お知らせします。

このウェブサイトでは、重粒子線がん治療に関することから、山形大学医学部に設置する重粒子線がん治療施設の特長、本

学部に重粒子線がん治療施設を導入するに至った経緯など、重粒子線に関する幅広い最新の情報を提供していくこととしております。

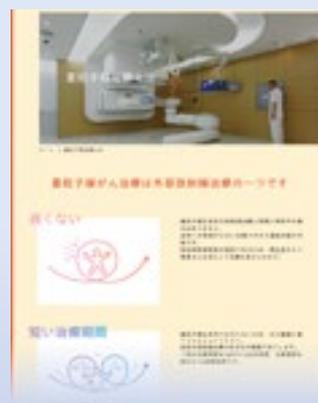
医療関係者の皆様におかれましては、是非、ご一読いただきますようお願いいたします。



ウェブサイトのトップページ



東日本重粒子センターについて



重粒子線治療とは

Topics2

大規模トリアージ訓練を実施しました

山形大学医学部附属病院では9月20日、大規模災害の発生を想定して、防災訓練と大規模トリアージ訓練を行いました。

山形大学医学部附属病院は、山形県地域防災計画において災害医療の拠点と位置づけられ、大規模災害時に発生する多数の傷病者に対して、その受入や医療救護班の派遣等を行う任務を担っており、これを前提に本院では、毎年防災訓練を実施しています。

今年度は、防災訓練に加え、医師、研修医、看護師、医学生及び模擬患者、総勢約150名による院内外の負傷者に対する大規模なトリアージ訓練を行いました。患者役の医学部の学生が負傷者に見えるような特殊メイク(ムラージュ)を施して、みな真剣な表情で本番さながらの訓練に臨み、指導にあたった西村山広域消防本部の救急救命士の方から高評価をいただきました。



山形大学医学部附属病院で行われた大規模トリアージ訓練の様子

診療科の取組案内 1

泌尿器科

当科では3つの泌尿器科領域、①泌尿器がん、②腎移植、③排尿障害・女性泌尿器科を中心に、症例によって内視鏡手術などの低侵襲手術、ロボット支援手術、拡大手術に加え、最新の薬物療法を駆使した集学的な治療を行っております。その他、一般的な泌尿器科疾患の診療も行っておりますので、お困りの症例がございましたらご遠慮なくご紹介ください。

〈ロボット支援手術〉

前立腺癌と小径(直径7cmまで)の腎がんに対して、県内で唯一ロボット支援手術を行っています。腎がんに対する部分切除術はこれまで50例以上に施行し、最近は埋没型や腎門部腫瘍などの高難度症例にも適応を拡大しています。また、前立腺癌に対するロボット支援手術も450例と豊富な経験を有しています。超音波やCT検査で偶然発見された腎腫瘍やPSA(前立腺特異抗原)高値症例などいつでもご相談ください。

〈女性泌尿器科〉

泌尿器科の対象は男性のみではありません。特に中高年の女性では尿失禁や骨盤臓器脱(膀胱、子宮、直腸が膣口から脱出するもの)がありながら、知識不足や羞恥心から泌尿器科を受診しない潜在的な患者さんが多いといわれています。このような患者さんに対して、薬物療法から生活指導、行動療法、リングペッサリー装着、さらには難治症例する尿道スリング手術や経膣的メッシュ手術など患者さんの状態やご希望に沿った治療を行っています。

〈腎移植〉

慢性腎不全に対するいわば姑息的治療法である血液透析に対して、腎移植は根治療法といえるでしょう。山形大学は県内唯一の腎移植施設として、生体腎移植と献腎移植(心停止下ならびに脳死下)を行い、慢性腎不全患者のQOL向上と社会復帰を目指しています。血液導入前の腎移植、「先行的腎移植」も行っておりますので、将来血液透析が予想される患者さんもお早めにご相談下さい。



腎移植術の様子

診療科の取組案内 2

放射線治療科

当科では、各種がんに対する放射線治療を数多く行っております。非侵襲的に加療が可能なため外来通院で治療されている患者さんも多くいらっしゃいます。また、県内で当院でしか施行できない放射線治療法も多数ありますので、ご紹介いただければと存じます。

〈外部放射線治療〉

放射線照射装置から発生した放射線を体外から照射する治療法です。当院では以下の高精度放射線治療が可能です。

■強度変調放射線治療(IMRT)

従来の放射線治療に比べ、腫瘍へ線量を集中して照射しつつ、周囲正常組織への影響を低減させることができる照射方法です。主に前立腺癌で行っておりますが、その他、頭頸部癌・子宮癌などでメリットがあります。現時点で、この治療方法が可能なのは県内では当院のみとなっております。

■定位放射線治療(SRT)

小さな病巣に集中的に投与線量を非常に高めた“ピンポイント照射法”です。通常照射よりも短期間での治療が可能で、当院では転移性脳腫瘍(治療日数3日)やI期肺癌(治療日数4日)に主に用いております。手術不能などの際にはご紹介ください。



当院の放射線治療装置

〈RI内用療法〉

体内に摂取された放射性同位元素を用い、そこから発生する放射線を用いて治療する方法です。残存、転移のある甲状腺癌や薬物療法困難な甲状腺機能亢進症に対する¹³¹I内用療法を数多く行っており、その他、有痛性骨転移に対する⁸⁹Sr療法などを行っております。

最後に がんに関連した症状(疼痛、出血、神経症状など)の緩和のために照射する”緩和照射”も数多く行っております。お困りの患者さんが居られましたらご紹介ください。